

西日本豪雨 3県253人利用

福祉避難所計れぬ需要

大規模な災害が起きたら、高齢者や障害者に十分な支援が届かないことが問題視されてきた。西日本豪雨で被害が大きかった岡山、広島、愛媛の3県では災害弱者向けに「福祉避難所」は15、19日現在46カ所が開設され、計750人が利用。ただ、病院や介護施設に入院・入所せず、在宅で生活している場合、利用ニーズを把握するのは困難で、相当数の災害弱者が孤立している可能性がある。(1面参照)



中野勝次さん(83)は穏やかな笑顔を見せた。

「体育館ではとても過ぎせなかった。福祉避難所のことには知らなかったが、必要な設備があつても助かっている」。広島市安芸区の自宅が全壊し、福祉避難所に指定されている特別養護老人ホームに避難した。



自宅が全壊し、福祉避難所となっている施設で過ごす中野勝次さん(広島市安芸区)19日、津村豊和撮影

「復興行によると、今年3月末現在、東日本大震災による避難生活など間接的な原因で死亡する「震災関連死」は、約3700人の9割弱が65歳以上。災害弱者を守る難しさが浮き彫りになっている。

災害弱者 相当数孤立か

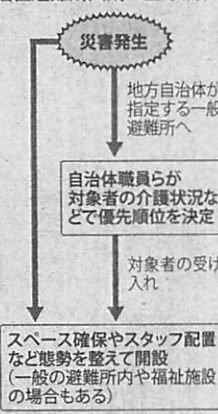
前4時ごろ、知人で知的障害者支援を行うNPOの内藤代理理事長(右)に起こされ、7日間を内藤さん宅で過ごした後、入院した。山田さんは「体調を考えると一般の避難所の体育館は難しかった」と話す。

事前周知と訓練重要

福祉避難所への入所は、被災後に自治体が指定している一般の避難所に行き、職員らが介護や身体状況を考慮し、対象者を決めて移動させるケースなどが想定される。ただ、内閣府の指針にある対象者の概数把握が事前に行き、避難所の存在も周知されていない場合は、行き場が見つけられず、悩むケースもありそうだ。市からは、内藤理事長を通じて様子一度尋ねられただけという山田さんは、理事長が助けてくれたければ、命も行き場もなかったと振り返った。

「災害が起きたら間違いない混乱する」。かつて、松山市の担当者はそう語っていた。豪雨で甚大な被害を受けた愛媛県。2016年9月時点で、要配慮者約9万3200人に、市町村が指定している福祉避難所は計231カ所、収容可能人数は約1万7800人だった。行き場を失う災害弱者を予測していたから、その1年後、同県の要配慮者は約9万4900人に増え、福祉避難所は8カ所増えたが、人数は約1万8200人にとどまる。岡山県倉敷市は、市内の族宅に避難している「夜間介護施設など10施設を福祉

福祉避難所入所の主な流れ



- ### 福祉避難所の確保・運営の主なポイント
- ・市町村は身体障害者や高齢者など対象者の概数を平時から把握
 - ・バリアフリーで利用可能な施設を選定
 - ・要配慮者やその家族らに避難所の情報を周知徹底
 - ・施設管理者と連携して冷暖房などを整備し、必要物資や人材確保
 - ・約10人の要配慮者に1人の生活相談員らを配置
 - ・避難者の状況把握のため名簿を作成
- ※内閣府のガイドラインより

自動ブレーキ 「過信は禁物」

豪雨時 JAF 検証
日本自動車連盟(JAF)が車の自動ブレーキに関する調査を実施した。豪雨時に正常に作動しないこともあるとの検証結果をまとめた。担当者は理由として、雨が車のセンサーなどに影響を及ぼしている可能性がある指摘。自動ブレーキの機能を過信しないよう注意を呼び掛けている。近年、ゲリラ豪雨の発生が目立つことから、茨城県

仲畑 流 万能川 柳 (印は省略)

市町の8カ所に155人が避難している。被害が大きいい広島市の担当者は「災害弱者の中には、一般避難所にいるのもつらいため、福祉避難所は遠くに行かないと悩む人もいます」と打ち明ける。2014年の土砂災害では、要配慮者らの把握に市が発行する確認証明書が役立ったとし、今回も他部署と連携して実態の把握に努める。

愛媛県では少なくとも西予市が19日現在で1カ所開設し、80代の男女3人が利用。保健師が一般の避難所に移動させようとするはトラブルも起こりうる。自治体ごとに地域の実情に応じた対応をしようという。元々、大洲市では介護老人保健施設が被災後に13人を受け入れたが、元々満床だったこともあり、数人は断らざるを得なかったという。「山本有紀、井上元宏、高山祥」

力が増加した。広島県は34カ所、岡山県27カ所、愛媛県23カ所が指定され、14年時点よりも大幅に増えはいた。だが、福祉施設ではそもそも満床の場合が多く、介護業界の人手不足も相まって非常時の対応を危ぶむ声もある。福祉避難所に指定されている愛媛県内のある施設の担当者は、取材に「国や県、市がやっていること。実際にどう動くのかはよく分からない」と困惑し、行政と施設側の連携不足がうかがえた。「所管する内閣府の担当者は「無理に福祉避難所に移動させようとするはトラブルも起こりうる。自治体ごとに地域の実情に応じた対応をしようという。元々、大洲市では介護老人保健施設が被災後に13人を受け入れたが、元々満床だったこともあり、数人は断らざるを得なかったという。「山本有紀、井上元宏、高山祥」

力が増加した。広島県は34カ所、岡山県27カ所、愛媛県23カ所が指定され、14年時点よりも大幅に増えはいた。だが、福祉施設ではそもそも満床の場合が多く、介護業界の人手不足も相まって非常時の対応を危ぶむ声もある。福祉避難所に指定されている愛媛県内のある施設の担当者は、取材に「国や県、市がやっていること。実際にどう動くのかはよく分からない」と困惑し、行政と施設側の連携不足がうかがえた。「所管する内閣府の担当者は「無理に福祉避難所に移動させようとするはトラブルも起こりうる。自治体ごとに地域の実情に応じた対応をしようという。元々、大洲市では介護老人保健施設が被災後に13人を受け入れたが、元々満床だったこともあり、数人は断らざるを得なかったという。「山本有紀、井上元宏、高山祥」